

# 森や町中で目を引く 木や草花



ネジバナ

日当たりのいい芝生や草地で見かけます。名前の通りねじれている草で、ねじれ方は右巻き、左巻きいろいろ。中にはねじれていないものもあります。



ミヤマガズミ

秋に真っ赤な実をつけるガズミの仲間。交野の山は深山ではありませんが、こちらの方が多く見られます。



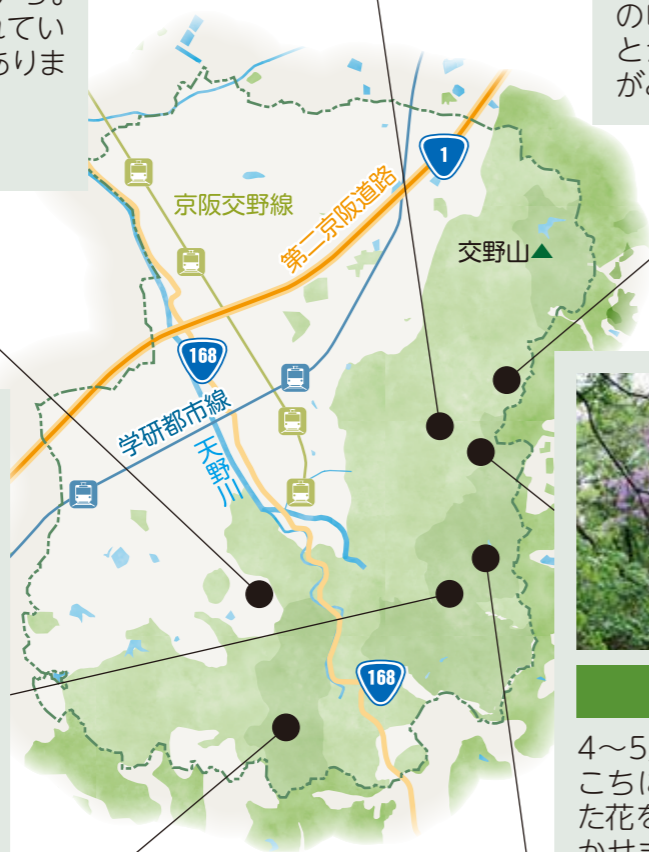
イワナシ

交野市の花「ツツジ」の仲間。岩場に生え、果実の味が梨に似ていることが語源。ピンクの花がとても可愛いです。



コバノミツバツツジ

春にたくさんの小ぶりの花で尾根や雑木林をピンク色に染め、ハイカーを和ませてくれる花です。



ヤマフジ

4～5月に明るい森のあちこちに藤色の蝶の形をした花をたくさん垂らして咲かせます。その美しさには目を奪われます。



ツルリンドウ

夏に咲く花はあまり目立ちませんが、秋になると鮮やかな赤色の光沢がある美しい実をつけます。



ササユリ

その美しい姿から「森の妖精」と呼ばれます。全国的に数が減る中、交野は保護団体のおかげで増えていたが、昨年からまた減り始めています。球根を食べるイノシシが原因？

# 草木のかげの 小さな昆虫たち



マユタテアカネ

顔に眉のような斑点があることが特徴です。一般的に赤とんぼと呼ばれるアキアカネの仲間ですが、赤くならないものも多いです。



クルマバッタモドキ

クルマバッタより多く見られます。背中に一対の「く」の字の模様があり、「×」に見えます。



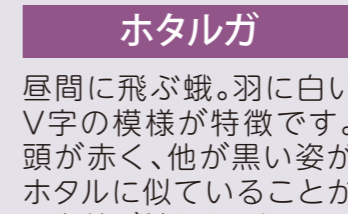
コアオハナムグリ

緑～銅色の体に白い点がちりばめられた模様をしています。林や原っぱで、よく花にもぐって花粉を食べている姿を目にします。



ハグロトンボ

蝶のようにひらひら羽ばたいて飛ぶトンボです。名前の由来は見たまま羽が黒いから。星の里いわふね近くの天野川でよく見かけます。



ホタルガ

昼間に飛ぶ蛾。羽に白いV字の模様が特徴です。頭が赤く、他が黒い姿がホタルに似ていることから名前が付けました。



ホンミスジ

3～4cmの蝶。住宅街でも日当たりの良い庭などによくいます。羽を開いたまま滑空する特徴的な飛び方をします。

## 「交野しぜんしらべたい」

参加者  
大歓迎!



交野の自然の今を調べることが、未来の多様な生態系を守ることに繋がると考え活動しています。まだまだメンバーが少ないので、興味がある人は、ぜひご参加ください。